

公益社団法人薬剤師認定制度認証機構
令和6年度第6回理事会 議事録

1.日時：令和7年3月7日（金）10:30～12:30

2.開催方式：対面会議と Zoom ミーティングのハイブリッド開催

会場：航空会館ビジネスフォーラム7階 703号室

〒105-0004 東京都港区新橋1-18-1 航空会館 TEL 03-6811-7017

<https://us06web.zoom.us/j/81999137594?pwd=TRktE4PTNtarSW36xv6eat0JfsAycb.1>

ミーティング ID: 819 9913 7594 パスコード: 773925

3.出席者：（*は Web 参加）

（理事）青野由利*、岩月進*、太田茂*、奥田真弘*、久保田理恵、崔吉道*、武田泰生*、
俵木登美子*、中垣俊郎*、狭間研至*、林昌洋、安原真人、山田勝士*

（監事）齊藤勲、

（顧問）吉田武美

（事務局）松本宜明 事務局長補佐、田中美香、安藤久仁恵*、鈴木春美
円城寺大樹（円城寺大樹税理士事務所）

4.議案

- （1）第1号議案 令和7年度事業計画（案）に関する件
- （2）第2号議案 令和7年度収支予算（案）に関する件
- （3）第3号議案 令和7年度「会費の規程」（案）に関する件
- （4）第4号議案 令和7年度定時社員総会に関する件
- （5）第5号議案 薬剤師生涯研修プロバイダー評価基準チェックリスト見直しに関する件
- （6）第6号議案 事務局長の委嘱に関する件

報告事項

- （1）令和6年度第5回書面理事会（G26 認証更新）について
- （2）卒後臨床研修制度小委員会の設置について
- （3）令和7年度理事会の開催日について
- （4）代表理事及び業務執行理事（認証担当、総務担当）の業務報告について
- （5）その他

5.事前配布資料

- （1）第1号議案資料 令和7年度事業計画書（案）

- (2) 第2号議案資料 令和7年度収支予算書(案)
令和7年度収支予算書内訳表(案)
- (3) 第3号議案資料 令和7年度「会費の規程」(案)
- (4) 第4号議案資料 令和7年度定時社員総会(対面及び書面)の開催(案)
薬剤師認定制度認証機構 役員候補者の選定方法について
(令和3年3月5日理事会申合せ)
- (5) 第5号議案資料 薬剤師生涯研修プロバイダー評価基準チェックリスト改訂(案)
- (6) 第6号議案資料 事務局長の委嘱(松本宜明氏 履歴書)
- (7) 報告事項(2) 資料 卒後臨床研修制度小委員会組織
- (8) 報告事項(3) 資料 令和7年度理事会の開催予定日
- (9) 報告事項(4) 資料 代表理事及び業務執行理事(認証担当、総務担当)の業務報告

6.議事概要

総務担当理事が開会を告げ、本日の出席者について各理事を点呼により確認し、理事総数15名中13名が出席し定款第30条に基づく過半数に達しており理事会は成立していることを告げた。齊藤監事、吉田顧問が出席しており、赤池理事、乾理事、望月監事から欠席の連絡があったことを報告した。

安原代表理事より、法人法の定めにより、本年3月31日までに来年度の事業計画と収支予算を内閣府に提出することが義務付けられており、本日の第1号議案と第2号議案のご審議をよろしくお願ひしたいとの挨拶があった。

総務担当理事が事前配付資料の確認を行ったのち、理事会規程第5条第3項に基づき代表理事が議長となり議事を進めた。対面とZoomのハイブリッド開催による会議であることから、事前配布資料を共有画面に示しながら説明及び審議を進めた。

《審議事項》

- (1) 第1号議案 令和7年度事業計画書(案)に関する件

代表理事より、事前配布資料(1)を用いて、令和7年度事業計画書(案)が説明された。薬剤師・薬局に関する主な出来事を概説した上で、本法人は、生涯研修実施機関(研修プロバイダー)、職能団体、学会、大学、行政等と緊密な連携を図り、社会や患者から信頼される薬剤師の生涯学修の質の保証とさらなる向上を目指していくとした。そのために、1) 評価基準及びその改善、普及に関連する事業、2) 各種認定制度を評価し、認証する事業、3) 既認証の制度について、認証の更新を行う事業、4) 生涯研修制度の発足、運営等に関する支援、助言、5) 生涯研修制度の将来像及び在り方に関する必要な検討と普及、6) 専門薬剤師認定制度に係る取り組みを実施する計画であることが説明された。また、第2次ビジョン委員会を継続設置し、10~20年後の薬剤師のあるべき将来像に向けた生涯研修制度のデザインに

ついて取りまとめることと、嘱託職員の増員による事務局体制の強化を進める予定であることが説明された。

質疑では、理事より専門薬剤師認定制度に係る取り組み、卒後臨床研修制度の取り組みに関する制度設計において本法人が第三者評価を担うことが明確になっているか状況説明が求められた。代表理事より、未定であり、厚生労働省や各研究班と連携し担うべき事業への準備を進めていることが回答された。

議長から本議案について諮ったところ、全員異議なく承認された。

(2) 第2号議案 令和7年度収支予算(案)に関する件

代表理事の指名で、令和7年度収支予算(案)について、松本事務局長補佐が第2号議案関連資料に基づき説明した。令和7年度事業活動収入計及び事業活動支出計は30,586,400円となり、収入ではプロバイダーの更新が9件予定されており増額になっていること、事業活動支出では昨年度計上したPC購入費・インターネット環境整備費が減額になる一方で委員会等出席謝金・旅費が増額になっていること、管理費支出においては理事報酬が減額になる一方で給与手当支出・職員社会保険料等が増額になっていることが説明された。

監事より事業費支出に記載された原価償却支出について質問があり、円城寺税理士より従前はコピー機減価償却を計上していたが次年度は該当するものがないため項目を残したことが説明された。

以上の議論の後、議長から本議案について諮ったところ、全員異議なく承認された。

(3) 第3号議案 令和7年度「会費の規程」(案)に関する件

代表理事より、第3号議案関連資料を用いて説明された。正会員は従来と同様の算定方法であり、特別会員については事前に確認を得ていること、また本議案は社員総会の議題となることが説明された。法人・団体特別会員の表記について確認があり、(社)を(公社)もしくは(一社)に修正のうえ社員総会に諮る旨の説明があった。

議長から本議案について諮ったところ、全員異議なく、承認された。

(4) 第4号議案 令和7年度定時社員総会に関する件

代表理事より、第4号議案関連資料に基づき、本議案では社員総会の日時、会場、開催様式につき審議し、社員総会の議案の内容については次回の理事会での審議となる旨の説明があった。6月16日(月)13時から日本薬学会長井記念ホールで対面開催を予定していることが説明された。議案として令和6年度事業報告、令和6年度決算報告、会費の規程、理事及び監事候補者の選任が議案として予定されており社員総会の2週間以上前に開催する5月の理事会で議案の内容を審議する予定であることが説明された。合わせて役員候補者の選定方法(令和3年3月5日理事会申し合わせ)について説明された。

役員候補者の選定方法に報道関係者が記載されている意味について質問があり、顧問より社会性に富んだ方を選任していること、代表理事より社会的視点でのご意見を頂戴して法人の運営をする観点から記載していることが説明された。

社会的視点から患者を代表する立場の方を選任する方向性、推薦者の項に記載のある必要と認められる団体について医療関係団体等の定義にすることを検討すること、関係者として記載の統一性のある記載にすることについて提案があり、代表理事より次期以降の選定方法申し合わせ見直しの中で理事会の検討を経て対応することが回答された。

議長から本議案について諮ったところ、全員異議なく承認された。

(5) 第5号議案 薬剤師生涯研修プロバイダー評価基準チェックリスト見直しに関する件

代表理事の指名で、薬剤師生涯研修プロバイダー評価基準チェックリストの見直しについて、松本事務局長補佐が第5号議案関連資料に基づき説明した。

前回理事会での意見を受けてフォローアップ小委員会で再度検討し、チェックリストの試験・試問等(習得度)についてオプション項目から外す案となったことが説明された。合わせて、認証申請の指針の4.2.1 修得度、研修成果の記述についても改定することが説明された。認証申請の指針には研修の成果を確認する方法が複数例示されており実行可能との見解を示す意見が出された。

見直し案のうち地域的な特徴についてオプションを外すことは、全国運営するプロバイダーを考えるとオプションとして残すべきとの提案があった。審査委員として申請を評価する際、地域的な特徴は必須と捉えていないことが説明され、審議した結果オプションとして残す案に修正することが説明された。

議長から修正した本議案について諮ったところ、全員異議なく承認された。

(5) 第6号議案 事務局長の委嘱に関する件

代表理事より、伊藤事務局長の退職が報告され、後任として松本事務局長補佐に事務局長を委嘱することが説明された。

議長から本議案について諮ったところ、全員異議なく承認された。

報告事項

(1) 令和6年度第5回書面理事会（G26 認証更新）について

代表理事より、G26 東京都薬剤師会の認証更新に関する書面理事会で、全員から承認が得られたこと、俵木理事、林理事からコメントが寄せられたことが紹介された。

研修内容について、具体的な研修内容の確認が必要と考え追加リストの提出を要請し確認した旨の発言があった。多数の研修会等が開催されている場合に全ての内容を検証するのは容易ではないが、いくつかサンプリングして内容を確認するような方法も今後検討すること

とした。コロナ禍において他のプロバイダーの単位を100%認める緩和措置があったが、各プロバイダーが養成を目指す薬剤師に対応した単位取得のあり方について再設定するようCPCとして働きかける方向性について提案したことが紹介された。

(2) 卒後臨床研修制度小委員会の設置について

代表理事より、レジデント制度をめぐる情勢に鑑み、薬剤師認定制度委員会の3番目の小委員会として卒後臨床研修制度小委員会を設置することとし、山田認証担当理事の賛同を得て報告事項(3)資料に示したメンバーで活動を開始することが報告された。

(3) 令和7年度理事会の開催日について

代表理事より、報告事項(3)資料に基づき令和7年度理事会の開催日について説明があり、日程確保し出席して頂けるよう要請があった。

(4) 代表理事及び業務執行理事(認証担当、総務担当)の業務報告について

代表理事より、報告事項(4)資料に基づき代表理事及び業務執行理事(認証担当、総務担当)の業務報告について説明があった。

(6) その他

代表理事より、2月21日に開催された厚労科研益山班第1回班会議に本法人より安原理事・林理事が出席したこと、全省庁統一資格申請を行ったこと、認定制度委員が任期満了を迎えることが報告され、後任の推薦についてご意見をいただきたいとの依頼があった。

代表理事より、本日の理事会における審議に謝意を表す閉会挨拶があった。

総務担当理事より、次回の理事会は、5月16日(金)10時30分からを予定しており、Webとのハイブリッド開催を計画していることが告げられた。

7. 閉会

以上の議事を終え、12時30分に対面とZoomミーティングのハイブリッド会議を閉会した。

上記の決議を明確にするため、定款第 31 条第 2 項に基づき、出席した代表理事および監事がこれに記名、押印する。

令和 7 年 3 月 7 日

代表理事 安原 真人 印

監 事 齊藤 勲 印